本書の構成と検索方法

機能やサービスの名前がわかっているとき	索引	☞P.19-26
	目次	☞P.vi
したいことや目的が決まっているとき	したいこと検索	☞P.ii
	索引	☞P.19-26
この電話機でできることを知りたいとき	できること検索	☞P.iv
	目次	☞P.vi
画面の表示やマークの意味を知りたいとき	機能一覧	☞P.19-2
	ディスプレイ	☞P.1-8
この取扱説明書の内容を知りたいとき	目次	☞P.vi
	各章目次	☞各章扉
おかしいな…故障かな？と思ったとき	故障かな？と思ったら	☞P.19-10
	保証とアフターサービス	☞P.19-32

ご利用になる前に	1
電話	2
文字入力／手書き	3
電話帳	4
デジタルテレビ	5
カメラ	6
モバイルウィジェット	7
ニュース／エンタテイメント	8
ミュージックプレイヤー	9
データ管理	10
通信・外部接続	11
セキュリティ	12
ツール	13
メール	14
インターネット	15
S!アプリ	16
S! GPSナビ	17
設定（カスタマイズ）	18
付録	19

したいこと検索

新しいケータイを友達に知らせたい

自分の電話番号を確認したい

自分の電話番号は、本機の画面で簡単に確認できます。

自分の電話番号を確認する☞P.1-35

メールアドレスを変更したい

お好きなメールアドレスに変更できます。

メールアドレスの変更☞P.14-4

自分だけのケータイにカスタマイズしたい

着うたフル® などを着信音に設定したい

着信音選択で着うたフル® を選ぶだけでOKです。

着信音を変える☞P.18-2

お気に入りの着うたフル® を入手したい

簡単なメニュー操作で着うたフル® サイトからダウンロードできます。

音楽のダウンロード☞P.9-3

とにかく早く基本操作を覚えたい

操作の基本を覚えたい

メニューからの機能選択が操作の基本です。ボタンの使いかたなども覚えておきましょう。

機能の呼び出しかた☞P.1-17、P.1-22
各部の名称と機能☞P.1-4

電話としてすぐに使いたい

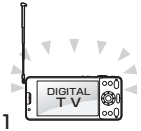
音声電話はもちろんテレビ電話も利用できます。

音声電話をかける☞P.2-2
TVコールをかける☞P.2-6

電話やメール以外でも楽しく便利に使いたい

ワンセグでテレビを視聴したい

チャンネルを設定するだけで、すぐにワンセグの番組視聴や録画ができます。



デジタルテレビ☞P.5-1

音楽プレイヤーとして使いたい

音楽のダウンロードも簡単にできます。

ミュージックプレイヤー☞P.9-1

電話帳に自分の情報を登録したい

自分のメールアドレスや住所などを登録しておくと、友達に情報を伝えるときなどに便利です。

オーナー情報☞P.4-12

友達に一斉にアドレスを伝えたい

メールを送るだけで伝えられます。複数の人にも、同じメールを同時に送信できます。

メール送信☞P.14-4
宛先を追加／編集／削除する☞P.14-9

近くの友達にアドレスを伝えたい

赤外線通信／ICデータ通信が便利です。オーナー情報に自分のメールアドレスを登録してから操作しましょう。

赤外線送信、ICデータ送信☞P.4-12

待受画面をアレンジしたい

壁紙を利用しましょう。選んだ壁紙の上に時計やカレンダーを表示できます。

壁紙登録☞P.10-7
ディスプレイ設定☞P.18-3

メニューをアレンジしたい

よく使う機能をプライベートメニューに登録すると、少ない操作でその機能を呼び出せます。

プライベートメニュー☞P.1-28

各機能を手早く使いたい

よく使う機能のショートカットを待受画面上に登録すると、すぐにその機能を呼び出せます。

ショートカットアイコン☞P.1-25

文字入力のしくみを覚えたい

メールや電話帳では文字入力が必要です。便利な入力機能も活用しましょう。

文字入力☞P.3-1

メールを使ってみたい

メールを目的に応じて使い分けましょう。表現力豊かなメールも利用できます。

メール☞P.14-1
デコレメール☞P.14-6

インターネットを利用したい

ソフトバンクならではのYahoo!連動サービスが利用できます。

インターネット☞P.15-1

カメラ／ビデオとして使いたい

内蔵のカメラで静止画や動画を撮影できます。本機を閉じたままでも、カメラを起動して撮影できます。

カメラ☞P.6-1

ゲームを楽しみたい

S!アプリを使ってみましょう。Yahoo!ケータイからダウンロードもできます。

S!アプリ☞P.16-1

最新ニュースが知りたい

最新ニュースなどを登録したコンテンツの最新情報を確認できます。

S!速報ニュース☞P.8-5

できること検索

001Pだからできること

タッチパネル
タッチパネルでらくらくタッチ操作。タッチメニューは自分でアレンジできます。

☞P.1-19

スピードセレクター
スピードセレクターを回転させることで、項目の選択やカーソルの移動、画面のスクロールなどができます。

☞P.ix

ソフトバンクケータイだからできること

Yahoo!ケータイサイト
ソフトバンクケータイ専用のポータルサイトを提供。インターネットをより便利に利用できます。

☞P.15-4

デコレメール／楽デコ
メール本文の文字色や背景などをデコレーション。本文のキーワードから自動的に変換することもできます。

☞P.14-6、P.14-7

おなじみの機能もさらに使いやすく

電話帳／S!電話帳バックアップ
本機の電話帳は基本機能が充実。大切な電話帳の控えはオンラインサーバーにバックアップし、保管することもできます。

☞P.4-1、P.4-10

カメラ
約13.2メガピクセルの高精細カメラを内蔵。タッチ操作で簡単キレイに撮影できます。

☞P.6-1

パソコンをはじめ生活に便利な機器と親密な関係に

PCサイトブラウザ／ダイレクトブラウザ（Wi-Fi専用）
パソコン用サイトをフル表示。パソコン並みの情報表示を可能にします。

☞P.15-5

データバックアップ／管理
本機とパソコンの間でデータをやりとり。バックアップや編集ができます。

☞P.11-19

ピクチャアルバム
多彩なエフェクトでスライドショーを楽しむことができます。

☞P.10-26

Wi-Fi
無線LAN機能を利用して自宅や公衆の無線アクセスポイントに接続。高速インターネットアクセスや高画質動画などが楽しめます。

☞P.11-11

PCメール
パソコン用アドレスのメールを本機で送受信できます。

☞P.14-25

S! GPSナビ
自分の居場所を地図で検索・確認したり、検索結果から目的地までのルート案内などのサービスを利用したりできます。

☞P.17-1

S!情報チャンネル
さまざまな情報を自動的に受信できる情報サービスです。画面で天気をお知らせするサービス（お天気アイコン）も利用できます。

☞P.8-2

モバイルウィジェット
よく使うコンテンツ（ウィジェット）を待受画面に貼り付けることで、いつでも最新情報をチェックしたり、簡単にツールを利用できます。

☞P.7-1

カレンダー／アラーム
予定を登録して管理できます。
朝の目覚めはアラームで。

☞P.13-2、P.13-6

ミュージックプレイヤー
本機が携帯音楽プレイヤーに変身。
音楽CDをパソコンに取り込み、microSDカードに保存して聴くことができます。

☞P.9-1

デジタルテレビ
ワイド画面で地上デジタル放送（ワンセグ）の番組を楽しめます。
番組録画もできます。

☞P.5-1

BD/HDDレコーダー
本機とHDDレコーダーをUSBケーブル（オプション品）で接続し、HDDレコーダー内の動画をmicroSDカードに保存して、本機で再生できます。

☞P.10-15

Bluetooth®
ワイヤレス接続方式Bluetooth®に対応。外部スピーカーと接続すれば、デジタルテレビの音声が迫力サウンドで楽しめます。

☞P.11-6

おサイフケータイ®
本機をお金の支払いやポイントカード・会員証の代わりとして使うことができます。

☞P.13-9

目次

目次 vi
お買い上げ品の確認 viii
本書の見かた viii
安全上のご注意 xii
お願いとご注意 xix
著作権などについて xxii
携帯電話機の電波比吸収率（SAR）について xxv
Safety Precautions xxvii
Handling Precautions xxxiii
Copyrights xxxvii

1. ご利用になる前に

USIMカードのお取り扱い 1-2
各部の名称と機能 1-4
電池パックと充電器のお取り扱い 1-10
電源を入れる／切る 1-14
マナーモード 1-15
ボタン操作で機能を呼び出す 1-17
タッチパネルを利用する 1-19
待受画面に表示される情報 1-24
お好みの画面表示に変更する 1-27
プライベートメニューを利用する 1-28
シンプルメニューを利用する 1-30
動画/音楽メニューを利用する 1-32
複数の機能を同時に起動する 1-33
のぞき見されないように設定する（ビューブラインド） 1-34
暗証番号 1-34
自分の電話番号を確認する 1-35

2. 電話

電話のかけかた／受けかた 2-2
TVコールのかけかた／受けかた 2-6
国際電話の利用 2-9
通話中の機能 2-11
履歴の確認／利用 2-13
メッセージ／通話の録音 2-15
オプションサービス 2-17

3. 文字入力／手書き

文字入力について 3-2
文字の入力方法 3-3
文字の変換機能 3-6
文字の編集 3-8
ユーザー辞書 3-9
ダウンロード辞書 3-10
タッチパネルでの入力方法 3-10
手書き機能の利用 3-11

4. 電話帳

電話帳について 4-2
電話帳の登録 4-3
電話帳の検索／利用 4-6
電話帳の管理 4-9
S!電話帳バックアップ 4-10
オーナー情報 4-12
ボイスダイヤル 4-13

5. デジタルテレビ

デジタルテレビについて 5-2
チャンネルの設定 5-4
デジタルテレビの視聴 5-5
TVリンクの利用 5-10
番組の録画／再生 5-11

6. カメラ

カメラをご利用になる前に 6-2
静止画／動画の撮影 6-7
撮影時の機能 6-11

7. モバイルウィジェット

モバイルウィジェットについて 7-2
ウィジェットの利用 7-2

8. ニュース／エンタテイメント

S!情報チャンネル／お天気 8-2
S!速報ニュース 8-5
S!コンテンツストア 8-6
ブログ投稿 8-7

9. ミュージックプレイヤー

ミュージックプレイヤーについて 9-2
音楽データの保存方法 9-2
ミュージックプレイヤーの利用 9-5

10. データ管理

データフォルダについて 10-2
保存されているファイルの確認 10-4
静止画の利用／編集 10-12
動画の再生 10-14
フォルダ／ファイルの管理 10-17
microSDカードの利用 10-19
ピクチャアルバムの利用 10-26

11. 通信・外部接続

赤外線通信 11-2
ICデータ通信 11-4
Bluetooth® 11-6
Wi-Fi 11-11
ソフトバンクユーティリティーソフト 11-19
USB 11-20
AV出力 11-21

12. セキュリティ

端末暗証番号の変更 12-2
ロック機能 12-2
発着信／送受信の制限 12-9
お買い上げ時の設定に戻す 12-13

13. ツール

カレンダー 13-2
予定リスト 13-5
アラーム 13-6
電卓 13-8
メモ帳 13-8
おサイフケータイ® 13-9
辞書 13-13
録音機能 13-14
バーコードリーダー 13-15
歩数計 13-17

14. メール

メールについて 14-2
メール送信 14-4
メール受信／確認 14-12
メールの管理／利用 14-17
PCメールの利用 14-25

15. インターネット

インターネットについて 15-2
Yahoo!ケータイの利用 15-4
パソコン用サイトの利用 15-5
情報画面での操作のしかた 15-7
情報の利用 15-9
情報表示中の操作 15-14

16. S!アプリ

S!アプリをご利用になる前に 16-2
S!アプリの利用 16-3

17. S! GPSナビ

S! GPSナビについて 17-2
S! GPSナビの利用 17-2

18. 設定（カスタマイズ）

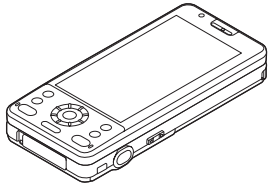
音／バイブレータ設定 18-2
ディスプレイ設定 18-3
スピードセレクター設定 18-6
マナーモード設定 18-7
着信に関する設定 18-7
時計設定 18-8
通話設定 18-8
イルミネーション設定 18-9
文字入力に関する設定 18-10
電話帳設定 18-11
ボイスダイヤル設定 18-11
TVコール設定 18-11
デジタルテレビ設定 18-12
カメラ設定 18-14
モバイルウィジェット設定 18-17
S!速報ニュース設定 18-17
Bluetooth® に関する設定 18-18
メール設定 18-19
インターネット設定 18-22
S!アプリ設定 18-24
おサイフケータイ® に関する設定 18-24
S! GPSナビに関する設定 18-25
本体色ごとのお買い上げ時の
　設定内容 18-26
各種機能の設定内容を確認する 18-27

19. 付録

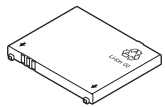
機能一覧 19-2
故障かな？と思ったら 19-10
ソフトウェア更新 19-12
メニュー番号一覧 19-14
ダイヤルボタンの文字割り当て一覧
　（かな方式） 19-15
　（2タッチ方式） 19-16
記号一覧 19-17
区点コード一覧 19-18
お天気アイコン一覧 19-23
メモリ容量一覧 19-24
主な仕様 19-25
索引 19-26
保証とアフターサービス 19-32
お問い合わせ先一覧 19-33

お買い上げ品の確認

□001P本体



□電池パック（PMBAS1）



□クイックスタート

□お願いとご注意

お知らせ

- 本機の充電には、ソフトバンクが指定した充電器（オプション品）を使用してください。
- 本機の充電器および、その他の付属品・オプション品につきましては、お問い合わせ先（☞P.19-33）までご連絡ください。
- 本機は、microSDカードを利用できますが、本製品にはmicroSDカードが同梱されていません。microSDカードに関する機能をご利用いただくためには、市販のmicroSDカードをご購入ください。（☞P.10-19）

本書の見かた

本書での表記や画面表示について

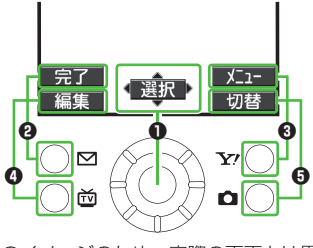
本書において、あらかじめご了承いただきたい内容

- 「SoftBank 001P」を「本機」と表記しています。
- 「microSDカード」、「microSDHCカード」を「microSDカード」と記載しています。
- 手順や画面は、本体色**ゴールド**のお買い上げ時の設定で記載しています。（☞P.18-26）
- 説明用画面およびイラストは、実際の画面表示や字体、形状などと異なる場合があります。また、周囲の明るさなどにより、実際の画面の階調と明るさが異なる場合があります。
- ボタンを押す操作は、簡略なボタンイラストを使用しています。
- 特に説明がない限り待受画面から操作を開始する手順を記載しています。
- ボタンを1秒以上押す操作を、「長押し」と表記しています。

スピードセレクター／ソフトボタンについて

画面下部に表示されているナビゲーション表示の内容を実行する場合は、それぞれの表示に対応するボタンを押します。

例）



- 画面は説明用のイメージのため、実際の画面とは異なります。

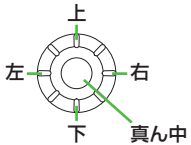
スピードセレクター（❶）の操作について

操作	表示例※
⊗ボタンで行う選択操作	▲ ◀ ▶ ▼
⊙ボタンで行う操作	選択

※ 表示は画面によって変わります。

スピードセレクター（❶）を押す表記について

本書では次のように表記しています。



⊙上	⊗上下	⊗上下左右
⊙下		
⊙左	⊗左右	⊙真ん中
⊙右		

ソフトボタン（❷❸❹❺）を押す表記について

本書では次のように表記しています。

例❷❸）✉**[完了]**、Y!**[メニュー]**

- **[完了]**、**[メニュー]**はP.viiiの例の場合です。表示は画面によって変わります。

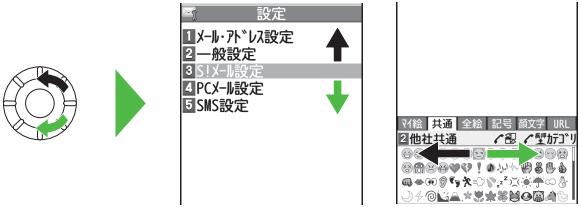
スピードセレクターを回転させて操作する

画面によっては、スピードセレクターを回転させることで、⊗を押したときと同じような操作ができます。

■ 回転操作ができる機能例

- 項目の選択
- カーソルの移動
- 画面のスクロール
- 音量調節画面表示中の音量調節
- カメラ撮影時のズーム倍率調節
- 静止画やメール本文画面表示中の画面切り替え

など



例1）項目の選択　　例2）カーソルの移動

■ 待受画面からの回転操作

待受画面で回転操作をすると、キーガイダンスが表示されます。回転方向によって起動する機能を変更することもできます。（待受起動設定☞P.18-6）

お知らせ

- 機能によっては、回転操作ができない場合があります。
- ディスプレイ消灯時は、回転操作は無効です。

こんなこともできます！

設定 ●スピードセレクターを回したときの音を変える／音を出さない ●スピードセレクターを無効にする（☞P.18-6）

操作手順の表記について

- ここで記載している操作手順や応用操作の内容は説明用のイメージです。実際の内容とは異なります。

手順記載の簡略化

本書では次のように設定操作手順を簡略化して記載している箇所があります。

例1）

A メインメニューからの選択操作　B 詳細手順

メインメニューから 電話機能▶グループ設定

- USIMカードのグループには「 」が表示されます。

1 グループを選んで[✉]**[編集]**→項目を選択→内容を設定

A メインメニューからの選択操作

❶ 待受画面で◉を押し、メインメニューを表示させます。
❷ メインメニューで◎を押して**電話機能**を選び、◉**[選択]**を押します。
❸ 電話帳の画面で◎を押して**グループ設定**を選び、◉**[選択]**を押します。

B 詳細手順

❶ グループ設定の画面で◎を押してグループを選び、[✉]**[編集]**を押します。
❷ グループ編集の画面で◎を押して項目を選び、◉**[選択]**を押します。
❸ それぞれの項目で内容を設定します。

例2）

C タッチメニューからの選択操作

タッチメニューから ツール▶電卓

C タッチメニューからの選択操作

❶ 待受画面で「 」をタッチして、タッチメニューを表示させます。
❷ タッチメニューで**ツール**をタッチします。
❸ **電卓**をタッチします。

例3）

D チェックボックス選択操作

1 [✉]→**設定**

2 **一般設定→メールセキュリティ設定**

3 端末暗証番号を入力 → 項目にチェック →[✉]**[完了]**

D チェックボックス選択操作

❶ 選択するには、◎を押して項目を選び、◉を押します。
項目の左端のマークが「 ☑ 」に変わります。
この操作を繰り返して、複数の項目を選択できます。
❷ 選択を解除するには、◎を押して「 ☑ 」の付いた項目を選び、◉を押します。
選択が解除されると、チェックマークが消えます。

応用操作をまとめて記載

主な操作手順の他に、使いこなす機能や設定を変えて使う機能がある場合は、次のようにまとめて記載しています。
例）

こんなこともできます！

●音声電話中に利用できる機能（☞P.2-11）
●履歴を利用して電話をかける（☞P.2-14）
●入力した電話番号を電話帳に登録する（☞P.4-5）
設定 ●通話中に本機を閉じたときの動作を変える（☞P.18-8）

設定 18章「設定（カスタマイズ）」を参照してください。

共通操作／操作開始条件の記載

「設定 設定（カスタマイズ）」のページなど、共通の操作が多い場合は、共通の操作や操作を開始する条件を次のように記載しています。
例）

A 共通操作
各操作を始めるまでの共通操作を記載しています。

共通操作▶ メインメニューから ツール▶カレンダー

■ カレンダー画面で利用できる機能

> 日付を選んで[メニュー]→項目を選択（下記参照）

項目	操作・補足
新規登録	新しいスケジュール、休日、記念日を登録します。（☞P.13-2、P.13-3）
1ヶ月表示／1週間表示	カレンダー画面の表示を1ヶ月／1週間に切り替えます。

B 操作手順
共通操作のあとに行います。

■ その他のデコレーションを利用する

> S!メール本文入力中に→項目を選択

C 操作開始条件
操作を開始する条件を記載しています。上記例の場合は、S!メールの本文入力中の画面から操作を開始します。

安全上のご注意

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。
内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。
内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

	禁止（してはいけないこと）を示します。
	分解してはいけないことを示します。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示します。
	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示します。

本機、電池パック、USIMカード、充電器（オプション品）、microSDカード（オプション品）の取り扱いについて（共通）

危険

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で充電・使用・放置しないでください。
また、暖かい場所や熱のこもりやすい場所（こたつや電気毛布の中、携帯カイロのそばのポケット内など）においても同様の危険がありますので、充電・放置・使用・携帯しないでください。
機器の変形・故障や電池パックの漏液・発熱・発火・破裂の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。

本機に電池パックを取り付けたり、充電器（オプション品）を接続する際、うまく取り付けや接続ができないときは、無理に行わないでください。電池パックや端子の向きを確かめてから、取り付けや接続を行ってください。
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。
火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。
電話機の改造は電波法違反となり、罰則の対象となります。

濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が入ったときに、濡れたまま放置したり、濡れた電池パックを充電すると、発熱・感電・火災・けが・故障などの原因となります。
使用場所、取り扱いにご注意ください。

本機に使用する電池パック・充電器・卓上ホルダー（オプション品）は、ソフトバンクが指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用した場合は、電池パックの漏液･発熱･破裂・発火や、充電器の発熱・発火・故障などの原因となります。

警告

本機・電池パック・充電器を、加熱調理機器（電子レンジなど）・高圧容器（圧力釜など）の中に入れたり、電磁調理器（IH調理器）の上に置いたりしないでください。
電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、本機と充電器の発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。

落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。
電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や火災・感電・故障などの原因となります。

充電端子や外部接続端子、microSDカードスロットに水やペットの尿などの液体や導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないようにしてください。また内部に入れないようにしてください。
ショートによる火災や故障などの原因となります。

プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所（ガソリンスタンドなど）では、必ず事前に本機の電源をお切りください。また、充電もしないでください。
ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイ® 対応携帯電話をご利用になる際は、電源を切った状態で使用してください。（ICカードロックを設定されている場合は、ロックを解除した上で電源をお切りください。）

使用中、充電中、保管時に、異音・発煙・異臭など、今までと異なることに気づいたときは、次の作業を行ってください。
1. 充電器を持ってプラグをコンセントから抜いてください。
2. 本機の電源を切ってください。
3. やけどやけがに注意して、電池パックを取り外してください。

異常な状態のまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

注意

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落下して、けがや故障などの原因となります。バイブレーション（振動）を設定中や充電中は、特にご注意ください。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方法を教えてください。使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。
けがなどの原因となります。

電池パックの取り扱いについて

危険

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類を確認した上で、ご利用・処分をしてください。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

火の中に投下しないでください。
電池パックを漏液・破裂・発火させるなどの原因となります。

釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えないでください。
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

電池パックの端子に、針金などの金属類を接触させないでください。また、導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）と一緒に電池パックを持ち運んだり保管したりしないでください。
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

電池パック内部の液が眼の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診察を受けてください。
失明などの原因となります。

警告

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、ただちに本機の使用をやめ、きれいな水で洗い流してください。
皮膚に傷害を起こすなどの原因となります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

電池パックの使用中・充電中・保管時に、異臭・発熱・変色・変形など、今までと異なることに気づいたときは、やけどやけがに注意して電池パックを取り外し、さらに火気から遠ざけてください。
異常な状態のまま使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

注意

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。
端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りの「ソフトバンクショップ」へお持ちください。
電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。

本機の取り扱いについて

警告

自動車、バイク、自転車などの乗り物の運転中には使用しないでください。
交通事故の原因となります。
乗り物を運転しながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されており、罰則の対象となります。
運転者が使用する場合は、駐停車が禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に影響を与える可能性があります。

フラッシュの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。また、フラッシュ点灯時は発光部を直視しないようにしてください。
同様にフラッシュを他の人の目に向けて点灯させないでください。
視力低下などの傷害を起こす原因となります。
特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。
また、目がくらんだり、驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器・植込み型心臓ペースメーカ・植込み型除細動器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など

本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあるため、航空機内では電源をお切りください。
機内で携帯電話が使用できる場合は、航空会社の指示に従い適切にご使用ください。

心臓の弱い方は、着信時のバイブレーション（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に影響を与える恐れがあります。

屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、ただちに電源を切って屋内などの安全な場所に移動してください。
落雷や感電の原因となります。

注意

車両電子機器に影響を与える場合は使用しないでください。
本機を自動車内で使用すると、車種によりまれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なう恐れがあります。

本機に磁気カードなどを近づけたり、挟んだりしないでください。
キャッシュカード･クレジットカード･テレホンカード･フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

ストラップなどを持って本機をふり回さないでください。
本人や周囲の人に当たったり、ストラップが切れたりして、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

着信音が鳴っているときや、本機でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。
難聴になる可能性があります。

本機の使用により、皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめて医師の診察を受けてください。
本機では材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります。

使用箇所		材質／表面処理
開始ボタン、クリア／メモボタン、電源／終了ボタン		PC／UV塗装
外装ケース	ダイヤルボタン側の側面	ABS／スズ蒸着、UV塗装
	ディスプレイ側面、ディスプレイ面	PC／UV塗装
	ディスプレイ背面、ディスプレイパネル下部	ABS／UV塗装
	ディスプレイ背面シート部、背面ネジカバー	PET
	電池面	ABS
外部接続端子		ステンレス鋼／ニッケルメッキ、スズメッキ
外部接続端子キャップ		PC、エラストマ／UV塗装
カメラレンズ部		PMMA／ハードコート、ARコート、撥水コート
カメラボタン、シャッターボタン、着信／充電ランプ、テレビボタン、メールボタン、Y!ボタン		PC／アルミ蒸着、UV塗装
サイドボタン、MULTI／Wi-Fiボタン		ABS／UV塗装
充電端子		銅合金／ニッケルメッキ、金メッキ
スピードセレクター		PC／UV塗装（ブラックのみアルミ蒸着有り）
スライドレール		マグネシウム
赤外線ポート部、フラッシュ部		PMMA
ダイヤルボタン	ボタン部	PC／UV塗装
	シート部	PET、アクリルウレタン
ディスプレイパネル		PET／ハードコート

使用箇所		材質／表面処理
テレビアンテナ	金属部分（パイプ部）、根元ヒンジ部（ピン）	ステンレス鋼
	金属部分（ワイヤ部）	ニッケルチタン合金
	収納部	POM
	先端樹脂部分	PC／UV塗装
	根元ヒンジ部（リフトアップ部）	黄銅／スズコバルトメッキ
	根元ヒンジ部（ワイヤ接合部）	ステンレス鋼／スズコバルトメッキ
	ホルダ部	亜鉛合金／ニッケルメッキ
電池カバー	外部接続端子側突起部	PC／アルミ蒸着、UV塗装
	カメラリング部（外）	PC／スズ蒸着、UV塗装
	カメラリング部（中）	アクリルウレタン
	カメラリング部（内）	アルミ／アルマイト処理
	電池収納面シート	PC
	本体	ABS／アルミ箔、UV塗装
電池カバー用ロックツメ、電池ストッパー		POM
電池端子	樹脂部分	PPS
	端子部	ベリリウム銅／ニッケルメッキ、金メッキ
電池パック	樹脂部分	PC
	端子部	ガラスエポキシ基板／ニッケルメッキ、金メッキ
	ラベル	PET
ネジ（電池カバー内）		鉄／ニッケルメッキ
銘板シール		ポリエステル
ラベル（電池面）		PP
microSDカード挿入（電池カバー内）	金属部分	ステンレス鋼／ニッケルメッキ
	樹脂部分	LCP
USIMカード挿入口		ABS

本機を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。
長時間肌にふれたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。

本機を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。
けがなどの事故や破損の原因となります。

デジタルテレビを視聴するときは、充分明るい場所で、画面からある程度の距離を空けてご使用ください。
視力低下につながる可能性があります。

イヤホンを使用するときは音量に気をつけてください。
長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳をいためたりする原因となります。

充電器（オプション品）の取り扱いについて

警告

充電中は、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
熱がこもって火災や故障などの原因となります。

指定以外の電源・電圧で使用しないでください。
指定以外の電源・電圧で使用すると、火災や故障などの原因となります。
急速充電器：AC100V～240V（家庭用ACコンセント専用）
シガーライター充電器（オプション品）：DC12V・24V（マイナスアース車専用）

シガーライター充電器（オプション品）は、マイナスアース車専用です。プラスアース車には絶対に使用しないでください。
火災などの原因となります。

雷が鳴り出したら、充電器には触れないでください。
感電などの原因となります。

濡れた手で充電器のプラグを抜き差ししないでください。
感電や故障などの原因となります。

シガーライター充電器（オプション品）のヒューズが切れたときは、必ず指定のヒューズに交換してください。
指定以外のヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。指定のヒューズに関しては、シガーライター充電器の取扱説明書でご確認ください。

プラグにほこりがついたときは、充電器を持ってプラグをコンセントから抜き、乾いた布などでふき取ってください。
火災の原因となります。

充電器をコンセントに差し込むときは、卓上ホルダーの端子および充電器のプラグや端子に導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないように注意して、確実に差し込んでください。
感電・ショート・火災などの原因となります。

長時間使用しない場合は、充電器を持ってプラグをコンセントから抜いてください。
感電・火災・故障の原因となります。

万一、水やペットの尿などの液体が入った場合は、ただちに充電器を持ってプラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
感電・発煙・火災の原因となります。

注意

充電器をコンセントやシガーライターソケットから抜くときは、コードを引っ張らず、充電器を持ってプラグを抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災などの原因となります。

お手入れの際は、コンセントやシガーライターソケットから、必ず充電器を持ってプラグを抜いてください。
感電などの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

警告

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会［平成9年4月］）に準拠、ならびに「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成13年3月「社団法人 電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカ等の装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどに確認してください。
電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

医療機関などでは、以下を守ってください。本機の電波により医用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。
- 手術室・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、本機を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本機の電源を切ってください。
- ロビーなど、携帯電話の使用を許可された場所であっても、近くに医用電気機器があるときは本機の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

満員電車などの混雑した場所にいるときは、本機の電源を切ってください。
付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている方がいる可能性があります。
電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

お願いとご注意

ご利用にあたって

- 事故や故障、修理などにより本機やmicroSDカードに登録したデータ（電話帳・画像・音楽など）が消失・変化したときの損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切な電話帳などのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
- 本機は、電波を利用しているため、特に屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話やデジタルテレビ視聴が困難になることがあります。また、通話・デジタルテレビ視聴中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話やデジタルテレビ映像が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機を公共の場所でご利用いただくときは、周囲の迷惑にならないようにご注意ください。
- 本機は電波法に定められた無線局です。従って、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、雑音が入るなどの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- microSDカード（市販）をご利用される場合は、あらかじめmicroSDカードの取扱説明書をよくお読みになり、安全に正しくご使用ください。
- 傍受（ぼうじゅ）にご注意ください。
  本機は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられたときは第三者が故意に傍受するケースもまったくないとは言えません。この点をご理解いただいたうえで、ご使用ください。
  - 傍受とは、無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。
- インターネットのサイトには、悪質なものや有害なものもあります。特に、個人情報の書き込みなどは慎重に行いましょう。

お取り扱いについて

- 本機は防水仕様にはなっていません。水に濡らしたり、湿度の高い所に置いたりしないでください。
  - 雨の日にバッグの外のポケットに入れたり、手で持ち歩いたりしないでください。
  - エアコンの吹き出し口に置かないでください。急激な温度変化により結露し、内部が腐食する場合があります。
  - 洗面所などでは衣服に入れないでください。ポケットなどに入れて、身体をかがめると、洗面所に落としたり、水で濡らしたりする場合があります。
  - 海辺などに持ち出すときは、バッグなどに入れて、海水がかかったり、直射日光が当たらないようにしてください。
  - 汗をかいた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れたりしないでください。手や身体の汗が本機の内部に浸透し、故障する場合があります。

- 本機の電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので、ご注意ください。なお、これらに関しまして発生した損害につきましては当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機は温度：5℃～35℃、湿度：35%～85%の範囲でご使用ください。
  極端な高温や低温環境、直射日光の当たる場所でのご使用、保管は避けてください。
- 使用中や充電中は本機や電池パックが温かくなることがありますが、異常ではありませんので、そのままご使用ください。
- 電池パックの使用条件によっては、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れることがありますが、安全上問題はありません。
- カメラ部分に、直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して、映像が変色することがあります。
- 端子が汚れていると接触が悪くなり、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などでふいてください。
- お手入れの際は、乾いた柔らかい布でふいてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。

- 本機のディスプレイを堅いものでこすったり、傷つけたりしないようご注意ください。
- 本機に無理な力がかかるような場所には置かないでください。
  - ・本機をズボンやスカートの後ろのポケットに入れたまま、座席や椅子などに座らないでください。
  - ・荷物のつまった鞄などに入れるときは、重たいものの下にならないようにご注意ください。
- 本機の銘板シールをはがさないでください。修理をお受けできないことがあります。
- 電池パックを取り外すときは、必ず本機の電源を切ってから取り外してください。急速充電器を接続して充電しているときは、必ず急速充電器を取り外したあと、本機の電源を切ってから取り外してください。またデータの登録やメールの送信などの動作中に電池パックを取り外すと、データが消失・変化・破損することがあります。
- 液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素がありますのであらかじめご了承ください。
- 本機の外部接続端子に指定品以外のものは取り付けないでください。誤動作を起こしたり、本機が破損することがあります。
- 歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、イヤホンの音量を上げないでください。周囲の音が聞こえにくくなり事故の原因となります。
- 本機を手に持って使用するときは、スピーカーをふさがないようにご注意ください。

機能制限について

本機を機種変更、解約したときは、下記の機能が利用できなくなります。また、本機を長時間使用しなかった場合も利用できなくなる可能性があります。

- ・カメラ
- ・デジタルテレビ
- ・ミュージックプレイヤー
- ・S!アプリ
- ・生活アプリ
- ・Wi-Fi

通話中／通信中の制限について

- 通話中／通信中は、同時に他の機能を使用したり各種操作を行っている間でも、通話料／通信料がかかります。

モバイルカメラについて

- カメラ機能は、一般的なモラルを守ってご使用ください。
- カメラのレンズに太陽の光が進入する状態で放置しないでください。レンズの集光作用により、故障の原因となります。
- 大切なシーン（結婚式など）を撮影される場合は、必ず試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- カメラを使用して撮影した画像は、個人として楽しむ場合などを除き、著作権者（撮影者）などの許諾を得ることなく使用したり、転送することはできません。
- 撮影が禁止されている場所での撮影はおやめください。

Bluetooth®／Wi-Fi機能について

- 本機はすべてのBluetooth®／Wi-Fi対応機器との接続／動作を保証するものではありません。
- Bluetooth®／Wi-Fi機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth®／Wi-Fiの標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境や設定内容などによってはセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth®／Wi-Fi機能で通信を行う際はご注意ください。
- Bluetooth®／Wi-Fi通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- Wi-Fi機能は日本国内でご使用ください。
  本機のWi-Fi機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがありますので、海外ではWi-Fi機能を有効にしないでください。
- 本機のBluetooth®／Wi-Fi機能の周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器や、工場の製造ライン等で使用されている構内無線局、アマチュア無線局など（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。
  1 Bluetooth®／Wi-Fi機能を使用する前に、近くで同じ周波数帯を使用する「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  2 万一、Bluetooth®／Wi-Fi機能の使用にあたり、本機と「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、Bluetooth®／Wi-Fi機能の使用を停止（電波の発射を停止）してください。
  3 その他不明な点やお困りのことが起きたときには、次の連絡先へお問い合わせください。
  連絡先：ソフトバンクモバイルお客さまセンター
  ソフトバンク携帯電話から 157（無料）
  ※ 一般電話からおかけの場合、「お問い合わせ先」（☞P.19-33）を参照してください。

周波数帯について

- 本機のBluetooth®機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

・2.4GHz帯を使用する無線機器です。変調方式としてFH-SS方式を採用し、与干渉距離は10m以下です。
・2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

- 本機のWi-Fi機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

・2.4GHz帯を使用する無線機器です。変調方式としてDS-SS方式／OFDM方式を採用し、与干渉距離は40m以下です。
・2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

Wi-Fiについてのお願い

- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
  ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります。（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）
  ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  ・近くに複数のWi-Fiアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

著作権などについて

肖像権について

他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮って公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされるときは、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。
また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio License、AVC Patent Portfolio License及びVC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

- 画像情報をMPEG-4 Visual、AVC、VC-1規格に準拠して（以下、MPEG-4/AVC/VC-1ビデオ）を記録すること。
- 個人的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4/AVC/VC-1ビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手したMPEG-4/AVC/VC-1ビデオを再生すること。

詳細についてはMPEG LA, L.L.C. (http://www.mpegla.com)をご参照ください。

MPEG Audio Layer-3音声圧縮技術は、Fraunhofer IISおよびThomsonからライセンスを受けています。

本製品に搭載しているWindows Media Technologyはマイクロソフト社及び第三者の知的財産権により保護されています。本製品以外にマイクロソフト社及びその関連会社の許可なくその技術を使用すること及び頒布することは禁止されています。

Windows Media®、Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Excel®、PowerPoint®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

本書では各OS（日本語版）を次のように記載しています。
Windows® 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
Windows Vista®は、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating system、またはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

WindowsはMicrosoft Windows operating systemの略称として表記しています。

JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。

アプリックス、microJBlend 及びJBlend、並びに、アプリックスまたはJBlendに関連する商標並びにロゴは、米国、日本国及びその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

着うた®、着うたフル®は、
株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

「待ちうた®」はKDDI株式会社の登録商標です。

本製品は、マイクロソフト社の知的財産権により保護されています。マイクロソフトもしくはマイクロソフトによる承認を受けた子会社からのライセンスを得ずに、本製品以外で技術の使用もしくは頒布を行うことは禁止されています。
コンテンツプロバイダーは、本製品に含まれるWindows Media デジタル著作権管理技術（WM-DRM）によってコンテンツの内容を保護し（以下、"保護コンテンツ"といいます）、そのコンテンツの著作権を含む知的財産権が不正に利用されないようにしています。本製品は、保護コンテンツの再生にWM-DRMソフトウェアを使用しています。本製品のWM-DRMソフトウェアの安全性が損なわれた場合、保護コンテンツの所有者はWM-DRMソフトウェアによる本製品の保護コンテンツの複製、表示、再生を可能にする新ライセンス取得権の無効化をマイクロソフトに要求できます。無効化は、WM-DRMソフトウェアによる保護コンテンツ以外のコンテンツの再生能力に影響するものではありません。インターネットもしくはパソコンから保護コンテンツのライセンスをダウンロードする際に、無効化されたWM-DRMソフトウェアリストが製品に送付されます。Microsoftはライセンスとともに、保護コンテンツ所有者に代わり無効化リストを製品にダウンロードする場合があります。

本製品にはGNU General Public License（GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
当該ソフトウェアに関する詳細は、メインメニューから「設定」→「一般設定」→「GPLライセンス等について」でご確認ください。

Bluetooth® is a registered trademark of the Bluetooth SIG, Inc.

The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Panasonic Mobile Communications Co., Ltd. is under license.
Other trademarks and trade names are those of their respective owners.

本製品のBluetoothソフトウェア・スタックは株式会社東芝が開発したBluetooth™ Stack for Embedded Systems Spec 2.0を搭載しております。

Powered by MascotCapsule®
MascotCapsule® is a registered trademark of HI CORPORATION
© 2011 HI CORPORATION. All Rights Reserved.

静止画手ブレ補正は、株式会社モルフォのPhotoSolidを使用しています。画像高速表示技術には株式会社モルフォのImageSurfを使用しています。
PhotoSolid、ImageSurfは株式会社モルフォの登録商標です。

FeliCa は、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
FeliCa はソニー株式会社の登録商標です。

は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。

「おサイフケータイ」は、株式会社 NTTドコモの登録商標です。

本製品は（ソフトバンク携帯電話の一部では）、インターネットブラウザおよびメーラとして、株式会社ACCESSのNetFront Browser およびNetFront Messaging Clientを搭載しています。
Copyright © 2004-2009 ACCESS CO., LTD.
ACCESS、NetFrontは株式会社ACCESSの日本またはその他の国における商標または登録商標です。
本製品のソフトウェアの一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

IrFrontは、日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
The IrDA Feature Trademark is owned by the Infrared Data Association and used under license therefrom.

ADOBE® FLASH® ENABLED

本製品はAdobe Systems IncorporatedによるFlash®、Flash® Lite™および／もしくはReader® 技術を含んでいます。
Copyright © 1996-2008 Adobe Macromedia Software LLC. All rights reserved.
Adobe及びFlashはアドビ システムズ社の商標です。

本製品に搭載している「楽デコ」は、株式会社アクロディア「絵文字Lite®」の知的財産権によって保護されています。

本製品に搭載している「ケータイTOOL<辞書>」は、「株式会社学研教育出版の英和・和英・国語辞書」を使用しています。

Wi-FiおよびWi-Fiロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。

AirStation™、AOSS™ は、株式会社バッファローの商標です。

「Twitter」の名称、ロゴは、Twitter, Inc. の登録商標です。

SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。

TVコール、S!アプリ、ナビアプリ、S! GPSナビ、生活アプリ、S!メール、きせかえアレンジ、デコレメール、S!情報チャンネル、PCサイトブラウザ、お天気アイコン、S!速報ニュース、S!電話帳バックアップ、安心遠隔ロック、ケータイWi-Fi、モバイルウィジェット、楽デコ、PCメールはソフトバンクモバイル株式会社の登録商標または商標です。

「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。

本製品は、InterDigital Technology社からのライセンスに基づき生産・販売されています。

その他、本書に記載されている会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。

本機に搭載のソフトウェアは著作物であり、著作権、著作者人格権などをはじめとする著作者等の権利が含まれており、これらの権利は著作権法により保護されています。ソフトウェアの全部または一部を複製、修正あるいは改変したり、ハードウェアから分離したり、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等は行わないでください。第三者にこのような行為をさせることも同様です。

「スピードセレクター」は、三菱電機株式会社の登録商標です。

携帯電話機の電波比吸収率（SAR）について

この機種001Pの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

この携帯電話機001PのSARは0.526W/kgです。

この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/

※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

「ソフトバンクのボディSARポリシー」について

＊ボディ（身体）SARとは：携帯電話機本体を身体に装着した状態で、携帯電話機にイヤホンマイク等を装着して連続通話をした場合の最大送信電力時での比吸収率（SAR）のことです。

＊＊比吸収率（SAR）：6分間連続通話状態で測定した値を掲載しています。ボディSARに関する技術基準として、米国連邦通信委員会（FCC）の基準および欧州における情報を掲載しています。詳細は「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。

＊＊＊身体装着の場合：一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

ソフトバンクモバイルのホームページからも内容をご確認いただけます。
http://www.softbankmobile.co.jp/ja/info/public/emf/emf02.html

「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」
米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行なった結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。
携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。
測定試験は機種ごとにFCCが定めた基準で実施され、下記のとおり本取扱説明書の記載に従って身体に装着した場合は0.119W/kgです。

身体装着の場合：この携帯電話機001Pでは、一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

上記の条件に該当しない装身具は、FCCの電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。
比吸収率（SAR）に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい方は下記のホームページを参照してください。

Cellular Telecommunications & Internet Association（CTIA）のホームページ
http://www.phonefacts.net（英文のみ）

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」
この携帯電話機001Pは無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。
携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSAR許容値は2W/kgで、身体に装着した場合のSARの最高値は0.203W/kg※です。

SAR測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行なうように設計されているためです。
世界保健機構は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機構のホームページをご参照ください。（http://www.who.int/emf）（英文のみ）

※ 身体に装着した場合の測定試験はFCCが定めた基準に従って実施されています。値は欧州の条件に基づいたものです。

Safety Precautions

- For proper handset use, read Safety Precautions carefully beforehand. Keep this guide in a safe place for future reference.
- Safety Precautions contain information meant to prevent injury to the user or others, or property damage, and must be observed at all times.
- SoftBank is not liable for any damages resulting from use of this product.
- Symbols below indicate level of risk from improper use:
  Understand these symbols and precautions before reading this guide.

Danger	Great risk of death or serious injury
Warning	Risk of death or serious injury
Caution	Risk of minor injury/property damage

- Symbol Explanations
  Understand these symbols and precautions before reading this guide.

	Prohibited Action		Avoid Moisture
	Disassembly Prohibited		Always Dry Hands First
	Compulsory Action		Disconnect Power Source

Handset, Battery, USIM Card, AC Charger (Sold Separately) & microSD Card (Sold Separately)

Danger

Do not use or leave handset or related hardware in locations subject to high temperatures, such as near an open flame/heater, in sunlight or inside a car on an extremely hot day. Do not charge, leave, use, or be carrying handset or related hardware in a warm place or where heat collects, such as under a kotatsu (blanketed warming table) or electric blanket, next to a kairo (worn warming patch), etc.
Battery may leak, overheat, explode, or ignite. Handset or related hardware may deform or malfunction. Part of the casing may also become hot and cause burns.

Do not use excessive force to attach battery or connect Charger to handset. Battery or connector may be the wrong way around.
Battery may leak, overheat, explode or catch fire.

Do not disassemble, modify or solder handset or related hardware.
May cause accidents such as fire, bodily injury, electric shock or equipment malfunction. Battery may leak, overheat, explode or catch fire. Modifying handset is a violation of Radio Law and subject to prosecution.

Do not get handset, battery and Charger wet.
If handset, battery or Charger is left wet or battery is charged after exposure to liquids such as water or pet urine, overheating, electric shock, fire, injury or malfunction may occur.
Be mindful of location when using handset, battery and Charger. Handle with care.

Use specified battery, Charger and Desktop Holder (sold separately).
Battery may leak, overheat, explode or catch fire, and Charger may overheat, catch fire or cause malfunction.

Warning

Do not place handset, battery or Charger inside cooking appliances, such as microwave ovens or high-pressure containers, or on IH cooking heaters.
Battery may leak, overheat, explode or catch fire. Handset or Charger may overheat, emit smoke, catch fire or cause malfunction.

Do not drop, throw or otherwise subject to strong force or impacts.
Battery may leak, overheat, explode, catch fire, or cause electric shock or damage to handset.

Do not allow liquids (water, pet urine, etc.) or conductive objects (pencil leads, metal pieces, necklaces, hair pins, etc.) to contact Charger terminals, external port terminals or microSD Card slot.
May cause fire or malfunction triggered by short-circuit.

Keep handset off and Charger disconnected near propane gas, in filling stations or places where flammable gas is generated.
Handset use in such areas may lead to fire. Be sure to turn off handset before using Osaifu-Keitai® in filling stations. (If IC Card Lock is set, cancel IC Card Lock then turn off handset.)

If handset, battery or Charger emits an unusual sound, smoke or odor, perform following steps:
1. Unplug Charger from outlet.
2. Turn off handset.
3. Remove battery. (Take care to avoid burns or injuries.)

May cause fire or electric shock.

Caution

Do not place handset, battery or Charger on an unstable surface.
May fall, causing injury or malfunction. Take extra precautions while vibration alert is active or during charging.

Keep handset and related hardware out of the reach of young children.
May result in accidental ingestion or bodily injury.

If for use by child, guardian should teach proper handling and ensure handset and related hardware is used as directed.
May result in bodily injury.

Battery

Danger

See battery label to confirm battery type.

Label	Battery Type
Li-ion 00	Lithium-ion

Do not throw battery into fire.
Battery may leak, explode or catch fire.

Do not pierce battery with a nail or other sharp object, hit it with a hammer, step on it, or subject it to strong shocks.
Battery may leak, overheat, explode or catch fire.

Do not touch terminals with metallic objects or carry/store battery with conductive objects (pencil leads, metal pieces, necklaces, hair pins, etc.).
Battery may leak, overheat, explode or catch fire.

If battery fluid gets into eyes, do not rub; flush with clean water and see a doctor immediately.
Failure to do so may cause blindness.

Warning

If battery fluid comes into contact with skin or clothing, stop handset use immediately and rinse fluid off with clean water.
Battery fluid is harmful to your skin.

If battery does not charge after specified time, stop charging.
Battery may leak, overheat, explode or catch fire.

If battery emits an unusual odor, overheats, discolors or deforms, immediately remove it and keep away from fire. Take care to avoid burns or injuries.
Battery may leak, overheat, explode or catch fire.

Caution

Do not dispose of battery with ordinary refuse.
Tape over terminals to insulate battery; take it to a SoftBank retailer or institution that handles used batteries in your area. Comply with local waste disposal regulations.

Handset

Warning

Do not use handset while driving a vehicle.
Doing so may interfere with safe driving and cause an accident. Stop your vehicle to park in a safe place before using handset. Drivers using handsets while driving are subject to prosecution.

Do not aim infrared port at eyes in infrared transmissions.
Doing so may affect eyes.

Do not aim Flash directly into eyes.
Do not look directly into Light while it is on.
May damage eyesight or cause accidents due to momentary sight loss/surprise. Do not photograph infants at close range.

Turn off handset near high-precision electronic devices or devices using weak electronic signals.
Handset may cause these devices to malfunction.
*Electronic devices that may be affected: Hearing aids, implantable cardiac pacemakers, implantable cardioverter defibrillators, other medical electronic devices, fire alarms, automatic doors and other automatically controlled devices.

Turn off handset aboard aircraft.
Handset signal may interfere with aircraft operation.
When in-flight handset use is permitted, follow airline instructions for proper use.

If you have a weak heart, take extra precautions when setting functions such as Vibration or Ringer Volume for incoming transmissions.
May affect heart.

In a thunderstorm, immediately turn off handset and seek shelter.
There is a risk of being struck by lightning and suffering electric shock.

Caution

If handset affects car electronics, stop use.
Handset use may affect electronics in some models. In this case, stop use; could impede safe driving.

Do not place a magnetic card near or in handset.
The stored magnetic data in cash cards, credit cards, telephone cards and floppy disks, etc. may be erased.

Do not swing handset by its strap, etc.
Handset may strike you or others, or strap may be broken resulting in injury or damage to handset or other property.

Do not place your ear too close to the speaker while ringer sounds or sound files play.
May impair hearing.

If skin abnormality occurs, immediately stop use and seek medical treatment.
Handset contains metals. Handset use may cause itching, rashes, eczema or other symptoms depending on the user's physical condition.

Handset may become hot while used in a hot environment.
Avoid prolonged skin contact that may result in burns.

Make sure not to trap fingers or objects when opening/closing handset.
May result in injury or damage to display.

Watch TV with adequate lighting and distance from Display.
May damage eyesight.

Do not turn up the volume unnecessarily high when using earphones.
Using earphones with volume turned up for an extended period may impair hearing or injure ears.

AC Charger (Sold Separately)

Warning

Do not cover or wrap Charger during charging.
May cause overheating, fire or malfunction.

Always use the specified power supply/voltage.
Using incorrect voltage may cause fire or malfunction.
AC Charger: AC100V-240V (household AC outlet only)
In-Car Charger (sold separately): DC12V, 24V (vehicles with a negative earth only)

Use In-Car Charger (sold separately) in vehicles with a negative (-) earth.Do not use In-Car Charger if vehicle has a positive (+) earth.
May cause fire.

Do not use Charger in thunderstorms.
There is a risk of suffering electric shock.

Do not handle Charger with wet hands.
May cause electric shock or malfunction.

If In-Car Charger (sold separately) fuse blows, always replace it with specified fuse.
Using the incorrect fuse may cause fire or malfunction. Refer to the respective manuals for information on the correct fuse specifications.

If dust accumulates on plug, unplug Charger and wipe with a dry cloth.
May cause fire.

When plugging Charger into outlet, keep conductive materials (pencil leads, metal parts, necklaces, hair pins, etc.) away from Desktop Holder terminals or Charger plug/terminals and plug Charger firmly into outlet.
May cause electric shock, short-circuit or fire.

Unplug Charger during periods of disuse.
May cause electric shock, fire or malfunction.

If liquid such as water or pet urine get into Charger, unplug it immediately.
May cause electric shock, smoke emission or fire.

Caution

Pull Charger (not cord) to unplug Charger.
Pulling on the cord may damage the cord and cause electric shock or fire.

Always unplug Charger before cleaning it.
May result in electric shock.

Near Electronic Medical Equipment

Warning

This section is based on "Guidelines on the Use of Radio Communications Equipment such as Cellular Telephones and Safeguards for Electronic Medical Equipment" (Electromagnetic Compatibility Conference, April 1997) and "Report of Investigation of the Effects of Radio Waves on Medical Equipment, etc." (Association of Radio Industries and Businesses, March 2001).

If you use an implantable cardiac pacemaker or cardioverter defibrillator, keep handset more than 22 cm away from the implant at all times.
Handset radio waves may affect implantable cardiac pacemaker or cardioverter defibrillator operations.

Persons using electronic medical equipment outside medical facilities should consult the vendor about possible radio wave effects.
Handset radio waves may affect electronic medical equipment operations.

Observe the following in medical facilities. Handset radio waves may affect electronic medical equipment.

- Do not take handset into operating rooms, Intensive Care Units or Coronary Care Units.
- Turn off handset inside hospital wards.
- Turn off handset even outside hospital wards (in hospital lobbies, etc.); electronic medical equipment may be in use nearby.
- Where a medical facility has specific instructions prohibiting the carrying and use of mobile phones, observe those instructions strictly.

Turn off handset in crowded places such as rush hour trains; implantable cardiac pacemakers or cardioverter defibrillators may be in use nearby.
Handset radio waves may affect implantable cardiac pacemaker or cardioverter defibrillator operations.

Handling Precautions

General Notes

- **SoftBank is not liable for damages from accidental loss/alteration/repair of handset/microSD Card information (Phone Book entries, image/sound files, etc.). Back-up important information.**
- **Handset transmissions may be disrupted inside buildings, tunnels or underground, or when moving into/out of such places.**
- **Use handset without disturbing others.**
- **Handsets are radios as stipulated by the Radio Law. Under the Radio Law, handsets must be submitted for inspection upon request.**
- **Handset use near landlines, TVs or radios may cause interference.**
- **Read microSD Card manual beforehand for proper use.**
- **Beware of eavesdropping.**
  Digital signals reduce interception, however transmissions may be overheard. Deliberate/accidental interception of communications constitutes eavesdropping.
  "eavesdropping" means radio communication is received by another receiver deliberately or accidentally.
- **Be cautious of unsafe websites. Take extra precautions especially when posting personal information on websites.**

Electromagnetic Waves

- **For body worn operation, this mobile phone has been tested and meets RF exposure guidelines when used with an accessory containing no metal and positioning the handset a minimum 15 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.**

FCC Notice

- **This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:**
  (1) This device may not cause harmful interference, and
  (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- **Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.**

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organization through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g. at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.
The highest SAR value for this model handset as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.415 W/kg, and when worn on the body in a holder or carry case, is 0.119 W/kg.
Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/ea/ after searching on FCC ID UCE210035A.
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) website at http://www.phonefacts.net.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.
The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 0.355 W/kg*. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this user guide**. In this case, the highest tested SAR value is 0.203 W/kg. As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.
The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head and body.

*The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.
** Please see Electromagnetic Waves on page xxxiii for important notes regarding body worn operation.

Declaration of Conformity

CE0168

We, Panasonic Mobile Communications Development of Europe Ltd., declare that SoftBank 001P conforms with the essential and other relevant requirements of the directive 1999/5/EC.
A declaration of conformity to this effect can be found at http://panasonic.net/pmc/support/index.html

- **This product is only intended for sale in Japan.**
- **Compliance to the European RTTE directive applies to: SoftBank 001P handset, battery (PMBAS1) and AC Charger (SoftBank ZTDAA1, marked MITSUMI).**

Handset Care

- **001P is not waterproof. Avoid exposure to liquids and high humidity.**
  - Do not expose handset to precipitation.
  - Air conditioned air may cause condensation, resulting in corrosion.
  - Do not put handset in damp places like bathrooms.
  - On the beach, keep handset away from sun and surf.
  - Perspiration in handset may cause malfunction.

- **If handset is left with no battery or an exhausted one, data may be altered/lost. SoftBank is not liable for any resulting damages.**
- **Use handset within temperatures of 5°C to 35°C and humidity 35% to 85% Avoid extreme temperatures/direct sunlight.**
- **Handset may become warm during use or charging. This is not malfunction.**
- **Battery may swell as service life nears end; this is not a problem.**
- **Exposing lens to direct sunlight may damage color filter and affect image color.**
- **Soiled terminals may cause poor connection. If the terminals are dirty, use a dry cloth or cotton swab to wipe them clean.**
- **Clean handset with dry, soft cloth. Using alcohol, thinner, etc. may damage it.**
- **Avoid forceful rubbing or scratching handset displays.**
- **Do not subject handset to excessive force.**
  - Do not sit down with handset in a back pocket.
  - Do not place heavy objects on a bag with handset inside.
- **Do not remove nameplate from handset; doing so invalidates warranty.**
- **Always turn off handset before removing battery. If battery is removed while saving or sending mail, data may be altered or lost.**
- **LCD is manufactured with high precision technology, however, some pixels may appear darker/brighter.**
- **Connect only specified products to External Port.**
- **While walking, moderate earphone volume to make sounds around you audible and help avoid accidents.**
- **When holding handset in use, do not cover Speaker.**

Function Usage Limits

These functions are disabled after handset replacement/upgrade or service cancellation: Camera; Digital TV; Music Player; S! Appli; Lifestyle-Appli; Wi-Fi.
After a period of disuse, these functions may become unusable.

Multitasking During Calls/Data Transmissions

- Calls/data transmissions incur transmission fees even when other functions/operations are simultaneously in use.

Mobile Camera

- Be sure to observe proper etiquette when using the camera.
- Do not expose the camera lens to direct sunlight. Concentrated sunlight through the lens may cause the handset to malfunction.
- Be sure to try taking and previewing pictures before using the camera on important occasions like wedding ceremonies.
- Do not commercially use or transfer pictures taken with the camera without the permission of the copyright holder (photographer), except for personal use.
- Do not use the camera in locations where taking photos and recording videos are prohibited.

Bluetooth® & Wi-Fi

- Connection with all Bluetooth®/Wi-Fi devices is not guaranteed.
- Handset complies with Bluetooth® and Wi-Fi security standards. However, this does not ensure 100% security.
- SoftBank is not liable for damages from Bluetooth®/Wi-Fi transmission data leakage.
- Wi-Fi function is meant for use in Japan only. Handset Wi-Fi function is certified as compliant with radio standard in Japan. Disable Wi-Fi function when travelling outside Japan. Use in other countries may violate local regulations.
- Bluetooth® and Wi-Fi transmit on the same frequency band as microwave ovens, industrial/scientific/medical equipment, radio stations, amateur radio stations (hereafter "other radio stations"), etc..
  1. Before Bluetooth® or Wi-Fi use, visually confirm that other radio stations using the same frequency band not nearby.
  2. If interference between handset and other radio stations occurs, move handset or immediately cancel Bluetooth®/Wi-Fi transmissions.
  3. For more information, contact SoftBank Mobile Customer Center, General Information:
     From a SoftBank handset, dial toll free at 157; for the landline number for your service area, please see ☞P.19-33 "Customer Service."

Wireless Frequency Bands

- **Bluetooth® frequency band:**

  - 2.4 GHz band with FH-SS modulation; maximum communication distance is 10 m.
  - 2400 – 2483.5 MHz band. Avoiding frequency band of mobile unit identification apparatus is not possible.

- **Wi-Fi frequency band:**

  - 2.4 GHz band with DS-SS/OFDM modulation; maximum communication distance is 40 m.
  - 2400 – 2483.5 MHz band. Avoiding frequency band of mobile unit identification apparatus is possible.

Wi-Fi Usage Precautions

- **Do not use Wi-Fi function near magnetic devices or sources of magnetic waves.**
  - Magnetic waves or electrostatic noise may cause noise/interference (especially when a microwave oven is in use).
  - Wi-Fi use near TVs or radios may affect TV/radio reception.
  - When multiple access points using the same channel are nearby, target access point may not be found.

Copyrights

Portrait Rights

Individuals have the right to refuse being photographed or publication or use of their image. Personality rights, or Right of Publicity, is a form of property right designed to protect celebrity interests that applies to all people. Be careful when using handset camera. Photographing or distributing the images of others without permission is unlawful.

Copyrights

Sounds, images, computer programs, databases, other copyrighted materials, their respective works and copyright holders are protected by copyright laws. Duplicated materials are limited to private use only. If duplications (including conversion of data types), modifications, transfer of duplicates or distribution on networks are made without permission of copyright holders, this constitutes "Literary Piracy" and "Infringement of Copyright Holder Rights" and a criminal action for reparations and criminal punishment may be filed. If duplicates are made using handset, please observe the copyright laws. Materials captured with handset camera are also subject to the above.